

学校だより



せんだん

学校教育目標 よりよい答えを求めて、ともに学び続ける高瀬っ子を育てる

日田市立高瀬小学校

第7号

令和7(2025)年10月22日

文責：校長 山口 健



10月11日 秋の大運動会

「協力～力を一つに、みんなで全力！～」を児童会テーマに決めて練習を積み重ねてきた子どもたち。開会式が始まる前から、応援団を中心に発声練習の声が響き、子どもたちの心はすでに一つになっていました。その勢いのまま、秋空の下、校庭いっぱいに元気な声が広がり、笑顔と感動の運動会が幕を開きました。

開会式では、私から「みんなの心を一つに、すべての力を合わせると、何が起こるでしょうか」という問いかけをしました。

私が考える答えとして——「一人では見えなかつた景色が見えてくる。そして、その景色は、大人になっても心に残る思い出になる」という話をしました。

当日の子どもたちは、その言葉のとおり、仲間と力を合わせながら、一人ひとりが輝く瞬間をつくっていました。

力強い走り、仲間と息を合わせた応援、心を込めた表現運動…。競技のたびに「がんばれー！」という声があふれ、赤組も白組も全力で取り組む姿がありました。

成績発表では、今年の優勝旗は赤組に、応援トロフィーは白組に贈られました。勝負が決したあと、両団長がそろって「みんなのおかげで」と語った言葉が印象的でした。勝ち負けをこえて、仲間を思う気持ちと感謝の心があふれています。

本校では、「よりよい答えを求めて、ともに学び続ける高瀬っ子を育てる」という教育目標のもと、2学期も重点目標として「協同」に力を入れて取組を進めています。今回の運動会は、その「協同の学び」を実感できる大きな節目となりました。友だちと力を合わせ、支え合いながら一つの目標に向かう経験は、子どもたちにとってかけがえのない財産です。

保護者の皆様、地域の皆様には、早朝からの準備や片づけ、そして温かいご声援をいただき、心より感謝申し上げます。地域全体で子どもたちの成長を支えてくださることが、何よりの励みです。

運動会の様子は学校ホームページの「フォトギャラリー」からご覧いただけます。

10月15日 秋のオープンスクール

ご多用の中、ご来校いただき誠にありがとうございました。多くの皆さまにお越しいただき、子どもたちも大変うれしそうに、日頃の学びの様子をご覧いただくことができました。

3年生親子レクリエーション

学級役員さんの発案による「ドッジボール」と「長縄跳び」に挑戦しました。



長縄跳びでは、おうちの方の声かけに合わせてタイミングをつかみ、これまで跳べなかつた子どもが跳べるようになる場面もありました。8の字跳びや全員で一斉に跳ぶなど、どのチームも息を合わせて取り組みました。

ドッジボールでは、「大人対子ども」の対戦もあり、笑顔と歓声があふれました。親子で体を動かしながら、楽しいひとときを過ごすことができました。

4年生親子レクリエーション

学級役員さんの企画による「写真コレージュづくり」に取り組みました。



これまでの思い出の写真を切り貼りしながら、親子でゆったりとした時間を過ごしました。

笑顔のあふれる教室の中で、世界に一つだけの素敵な作品が次々と完成しました。

できあがった作品は、おうちに持ち帰りました。

今年、2分の1成人式を迎える4年生。10年の歩みをあたたかく振り返る、心に残るひとときとなりました。

5年生稻刈り体験学習

秋晴れの空の下、育友会農林部の皆様をはじめ、5年生保護者の皆様にもご協力いただき、子どもたちは黄金



色に実った稻を一株一株ていねいに刈り取りました。初めて鎌を手にする子どもも多く、最初は少し緊張した様子でしたが、しだいに慣れて手際よく作業を進めていました。保護者の皆様に支えられながら、自然の恵みと収穫の喜びを感じる温かい時間となりました。

収穫したもち米は、今後、かけ干しして脱穀を行い、11月9日（日）の創立150周年記念式典の午後に行う餅つき大会で使用する予定です。自分たちの手で収穫したもち米を使って、記念の行事を迎えるのが今から楽しみです。

人権講演会「まるたんぼの会」

オープンスクールにあわせて育友会育成サポート部主催による人権講演会が開かれました。

今回は、毎月2回、本校で絵本の読み聞かせをしてくださっている「まるたんぼの会」から7名の皆様を講師に迎え、全校児童と保護者が一緒にお話を耳を傾けました。

「まるたんぼの会」は、今から25年前の2000年12月に、本校の保護者が発起人となって始まった活動です。

グループでは、子どもたちに読み聞かせる本が重ならないように学年ごとにブックリストを作成し、6年間の読み聞かせの記録を大切に積み重ねています。

代表の安心院智子さんはこれまでの思いを次のように語られました。

「子どもたちに、本の楽しさを伝えたくて、この活動を始めました。読み聞かせを通して、子どもたちに人の話を聞く人になってほしいと思います。本は、放っておいて読めるようになるものではありません。日本語を豊かにするためにも、ご家庭に本を読



める環境をつくってください。そして、大人が夢中になって本を読む姿を、ぜひ子どもたちに見せてあげてください。」

穏やかな口調の中にも、熱い思いが込められていました。

その後、3冊の絵本の読み聞かせが行われました。人に寄り添う気持ちに気づかされるお話や、生の声で語られる言葉の温かさに、会場全体が静かな感動に包まれました。

なお、先日開催された第29回市民健康福祉まつりにおいて、「まるたんぼの会」がひた福祉賞を受賞されました。長年にわたる地域貢献と温かな活動に、心からお祝い申し上げます。

前庭50年ぶりの改修

本校の前庭で進めてきた、約50年ぶりとなる改修工事がこのたび完了しました。



これまで長い年月にわたり、子どもたちや地域の皆様を見守ってきた庭木や構造物も、老朽化や枝葉の繁茂が進み、安全面や景観の面で課題がありました。

今回の工事では、庭木の剪定に加え、校訓石碑の周りにはやわらかな芝生が広がり、池の前の花壇には季節ごとに彩る芝桜を植えました。

庭全体が明るく、すっきりとした空間に生まれ変わりました。

また、学校正門前の歩道の拡張や、旧クジヤク小屋および農業倉庫跡地の舗装工事も行われました。

このように、地域の皆様の温かいご奉仕とご協力により、学校の周りの環境が少しずつ整えられ、創立150周年記念式典を迎える準備が着々と進んでいます。

ご奉仕・ご協力いただいた地元企業の皆様

上野町 梶原造園様（造園）※順不同

大日町 木下建設様（造園）

高瀬本町 加藤石工様（石碑）

高瀬本町 田中建設様（正門前歩道）

八幡町 豊中建設様（駐車場）

これらの工事は、地域の皆様の温かいお気持ちとご支援によって実現しました。改めて、心より感謝申し上げます。